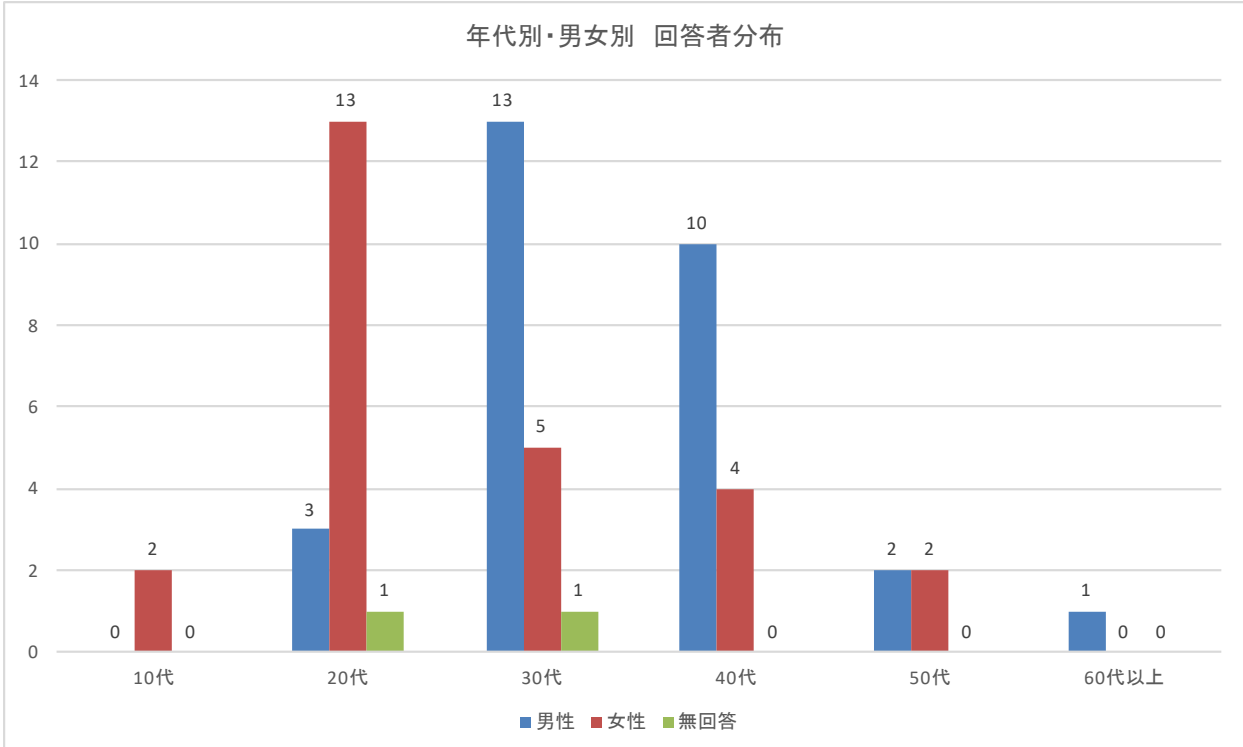
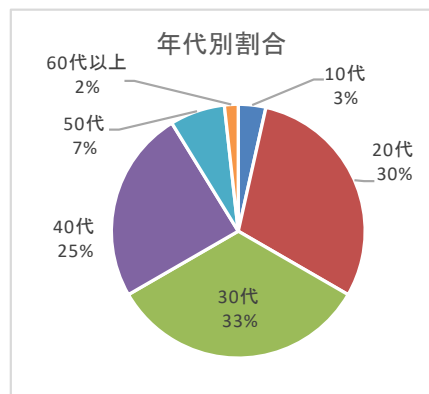
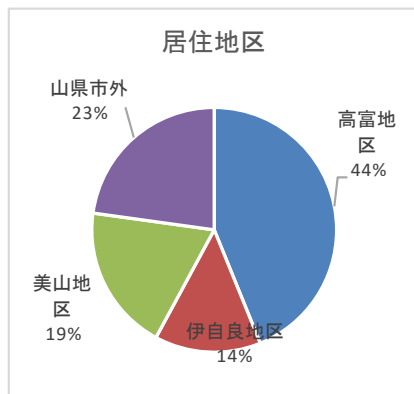
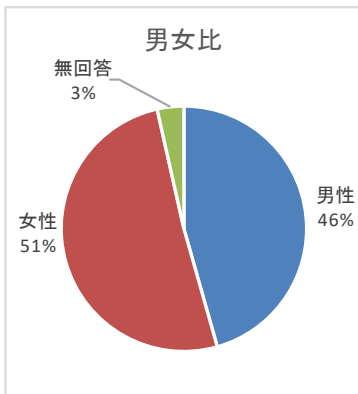


山県市の結婚意識に関する アンケート調査報告

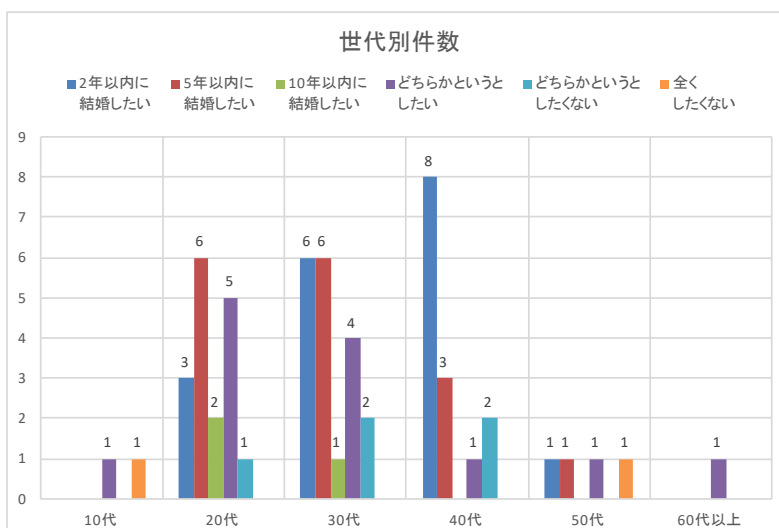
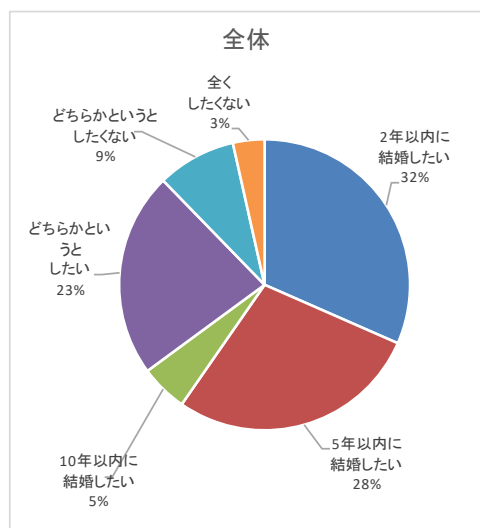
— 独身者・既婚者を対象とした調査 —

回答者について【独身者】

年代	男性	女性	無回答	合計
10代	0	2	0	2
20代	3	13	1	17
30代	13	5	1	19
40代	10	4	0	14
50代	2	2	0	4
60代以上	1	0	0	1
合計	29	26	2	57



Q4、将来結婚したいと思いますか？



◆ 全体では、結婚意欲が高い。

9割弱の人が「2年内／5年内／10年以内 に結婚したい」「どちらかというたい」と考えている。

◆ 10代：母数が少ないが、結婚に対してあまり積極的ではない傾向が見られた。（2人とも女性）

人口増の観点からすると、若い世代に対して「結婚」「出産」について考えるきっかけを与えることが大切だと考える。

◆ 20代は結婚に対する意識が高い。

◆ 10代～30代は、2年～5年スパンでの結婚が考えている人が半数以上。

20代は「5年以内」、30代/40代は「2年内」に結婚を望むようになり、年齢が進むにつれて早期での結婚を望んでいる。

今回のアンケートでは10歳ごとの年代で取得しているが、30代も前半／後半で結婚を考える期間に関して違いがあると推察される

◆ 回答数は少ないものの、50代/60代の結婚意欲もうかがえた。

Q4、将来結婚したいと思いますか？

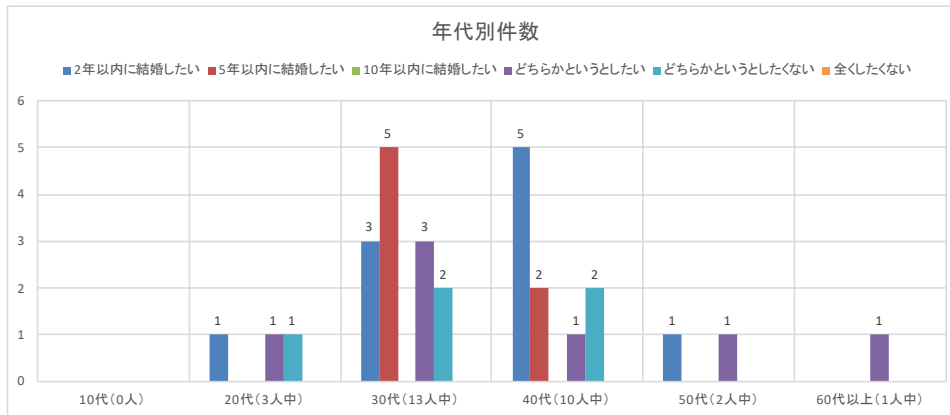
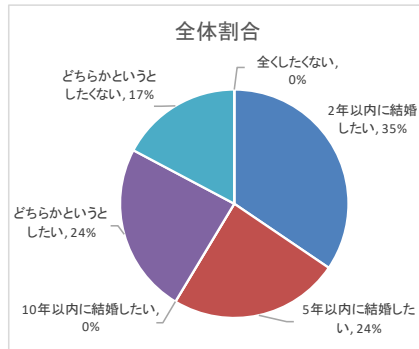
(男女別の結婚意欲)

男性

男性の全体回答数

10代	0
20代	3
30代	13
40代	10
50代	2
60代以上	1

合計 29

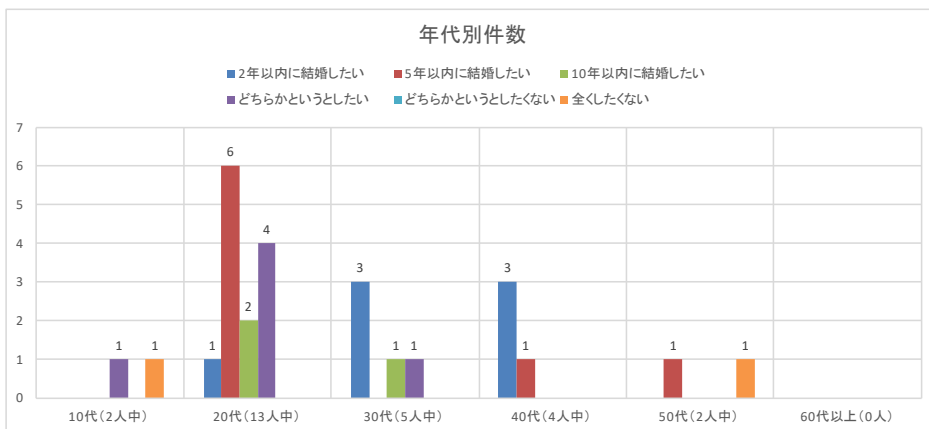
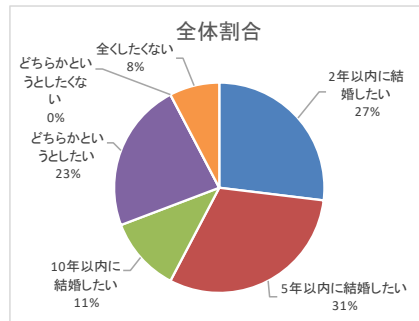


女性

女性の全体回答数

10代	2
20代	13
30代	5
40代	4
50代	2
60代以上	0

合計 26



- ◆ 結婚意欲の割合に男女で大きな差は見られなかったが、女性9割 男性8割の方が「いずれ結婚をしたい」と考えている
- ◆ 20代女性は、「5年以内」と、少し先の結婚を考えている人が多数
- ◆ 30代女性は、「2年以内に結婚したい」人が多い一方で、30代男性は「5年以内に結婚したい」割合が多く、同世代でミスマッチが起きている傾向

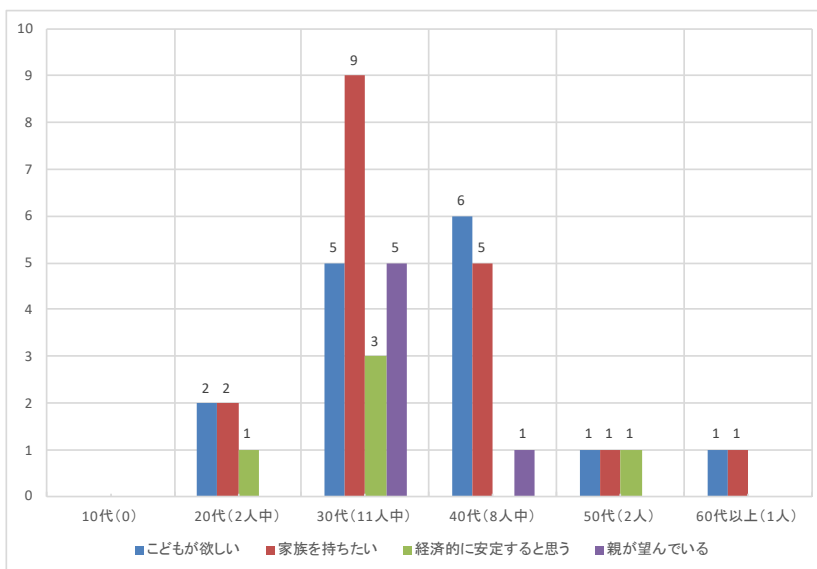
Q5. 結婚を望む理由は？【複数回答】

男性

年代	件数
10代	0
20代	2
30代	11
40代	8
50代	2
60代以上	1

合計 24

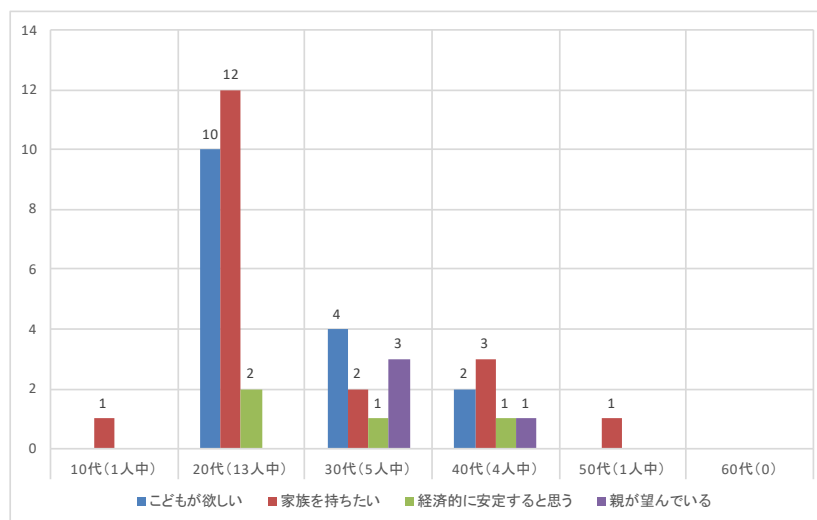
※左表：Q4「将来結婚したいと思いますか？」で、「2年以内／5年以内／10年以内に結婚したい」「どちらかという」と回答した人数



女性

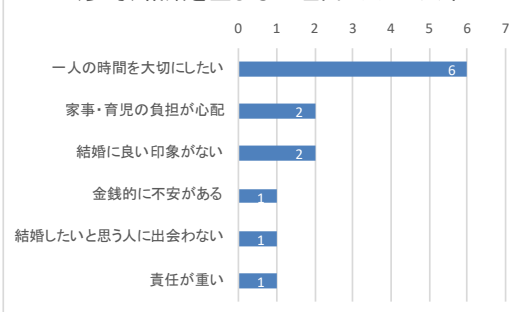
年代	件数
10代	1
20代	13
30代	5
40代	4
50代	1
60代以上	0

合計 24



- ◆ 男性は、年代に関わらず、子どもを理由に結婚を望む人が4割～半数程度いる
- ◆ 女性は、「子どもを持ちたい」「家族を持ちたい」という理由で結婚を望む人の割合が多い
- ◆ 男女とも、30代以降になると、親が望むために結婚を希望する傾向が見られる
- ◆ 若年の男性で、経済的な安定を理由に結婚を望む傾向が見られた。
近年の結婚相談内容では、年収の高くなく若い男性が世帯年収での安定を求める傾向もあり、その表れとも言える。
- ◆ 40代になる女性は相対的に子どもが欲しい割合が減少するが、男性は割合が増加する。

(参考)結婚を望まない理由 ※全7人中



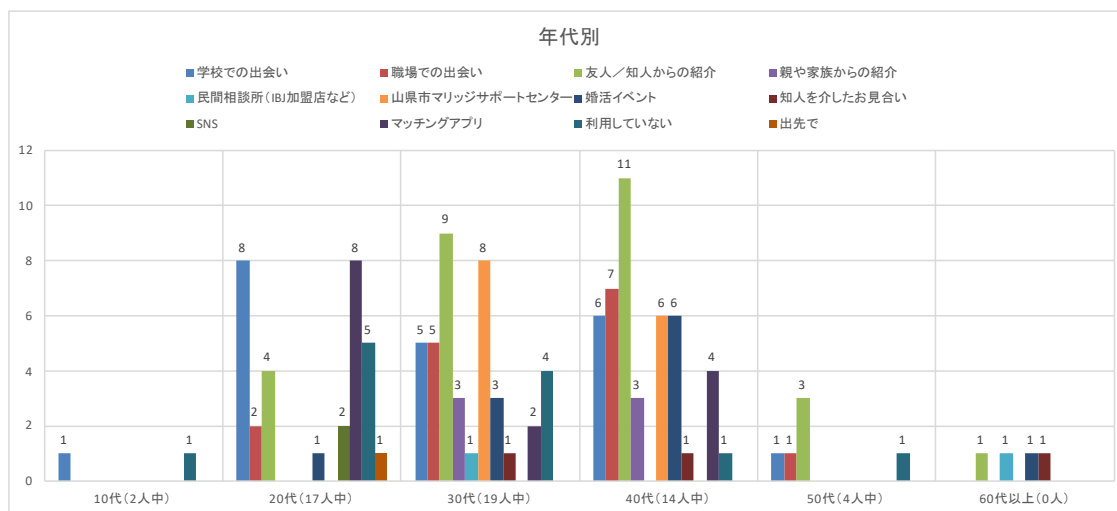
- ◆ 結婚を希望しない方の大半は「一人の時間を大切にしたい」方である
- ◆ 結婚に対するネガティブなイメージから、結婚を望まない人も一定数見られた

Q6. 今までの出会いのきっかけを教えてください。【複数回答】

全体回答数

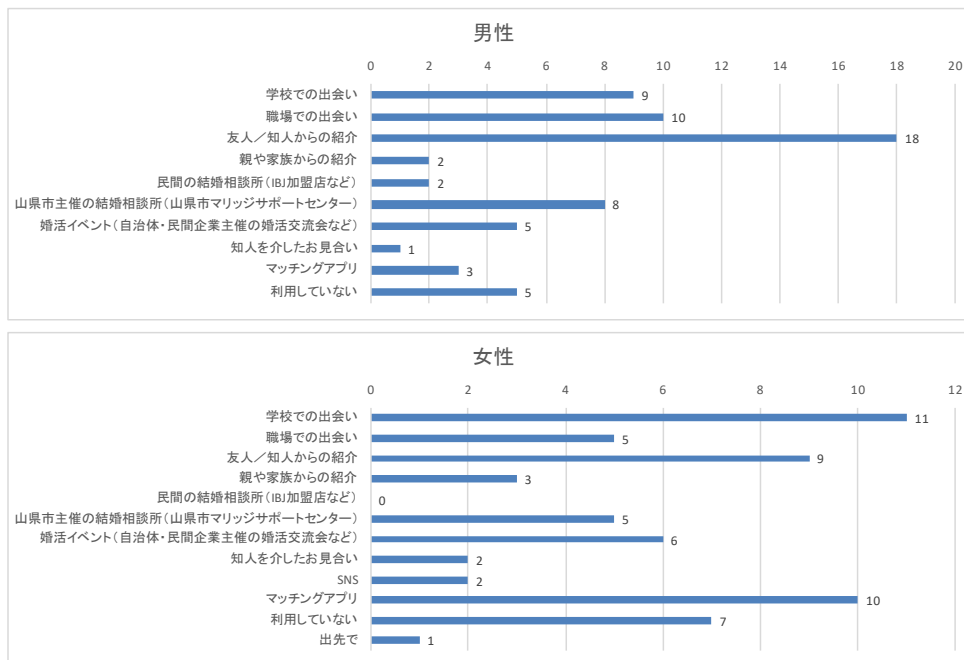
10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
2	17	19	14	4	1	57

57



- ◆ 20代は、「学校」「職場」「友人/知人」などリアルな接点と同時に「マッチングアプリ」での出会いが目立つ。
- ◆ 30代～40代になると、友人・知人からの紹介に加え、山県市マリッジサポートセンターや婚活イベントなどのサービスでの出会いが増えており、他者からのサポートや、婚活サービスの活用が増加傾向にある。
- ◆ 30代、40代は多様な方法で出会っているため、幅広いきっかけづくりが有用だと思われる

男女別の出会い方の違い



- ◆ 男性は、友人の紹介が目立つ。結婚相談所の活用も多く、リアルな出会いや対面サポートを重視している傾向にある
- ◆ 女性は、自然な出会いから相談所・婚活イベント活用など、多様な方法で出会っている。
- ◆ 女性は、回答者が20代が多いためか、マッチングアプリの活用も目立つ。
- ◆ 高富地区の回答者数に占める「婚活イベント」を利用している割合が、他地域より少なかった。

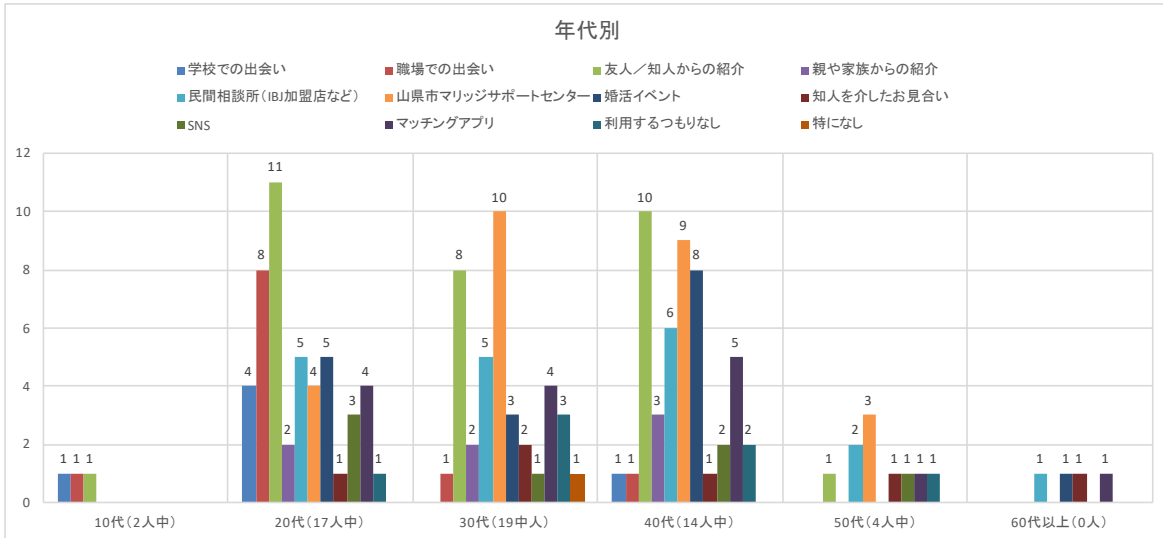
みとかや香り会館など高富地区での開催が多いため、知り合いに合うなどの抵抗があることが推察される。

Q7. 今後、結婚相手と出会うために、必要だと思うきっかけや手段を教えてください。【複数回答】

全体回答数

10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
2	17	19	14	4	1	

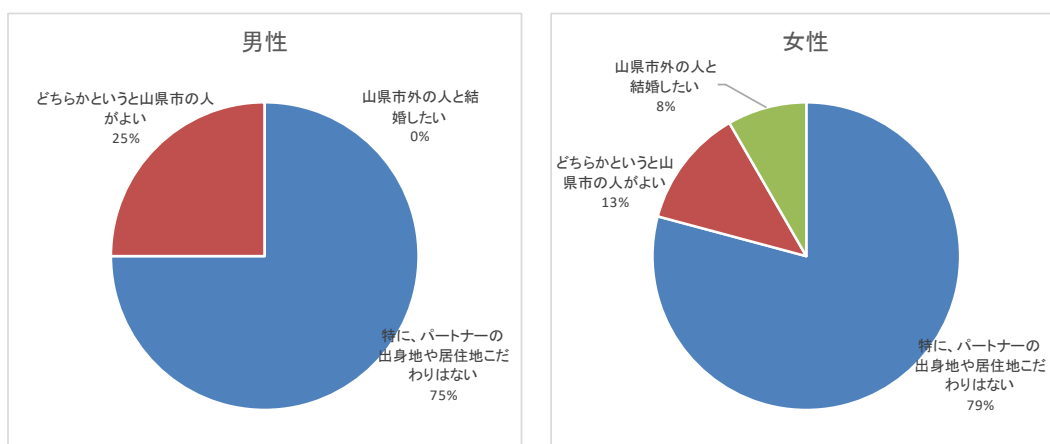
57



- ◆ 全体を通して、「友人・知人からの紹介」の割合が大きい
- ◆ 年代が上がるにつれて、自然な出会い→紹介や、山県市マリッジサポートセンター等の相談所を希望するようになる
20代のうちは自然な形で出会うことを望むが、30代・40代で良い出会いが見つからなかった人がサポートを求めている
- ◆ 婚活イベントは、20代～40代で一定数希望している方がいる
- ◆ 地域差は見られなかった

Q9. 山口市在住の人と結婚したいと思いますか

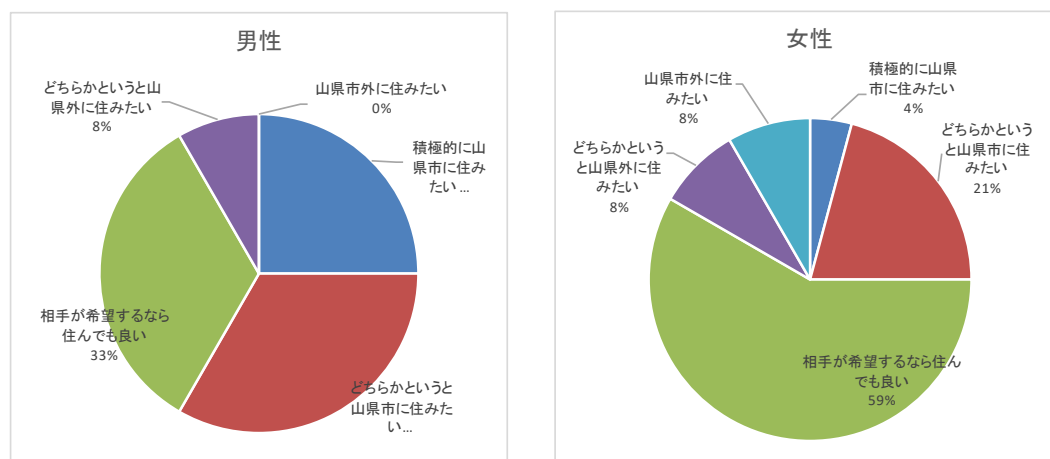
※対象：結婚希望者



◆ 「どちらかというとし県市の人の方がよい」と答えた人の8割弱が、「高富地区」在住の方であった。

Q10. 結婚後、山口市に住みたいと思いますか

※対象：結婚希望者



◆ 男性は、地元志向が強い方が多い。

(2年後、5年後に結婚をしたいと考えている男性は、「どちらかというとし県市に住みたい」「積極的に山口市に住みたい」と考えている)

女性も地元に住みたい人も一定数いるため、山口市での婚活支援と定住支援の掛け合わせも有用

◆ 女性や居住地にこだわりのない層に対して、「地元に残りたい」と思えるサポートがあると、山口市への定住につながる

◆ 「積極的に山口市に住みたい」「どちらかというとし県市に住みたい」人は、高富地区の回答者に多かった

(参考) 結婚を望まない層は、その半数以上が山口市外での居住を望んでいた(地元志向が弱い)

【山口市に住みたい理由】

職場が近いから

家業のため離れられない

私の代で6代目なので

生まれてからずっと、山口市に住んでいるから

地元だから

住み慣れた土地だから

親と近くで暮らしたい

実家があるから

自宅があるため

山口市の人口が減少しているため、とどまりたい。

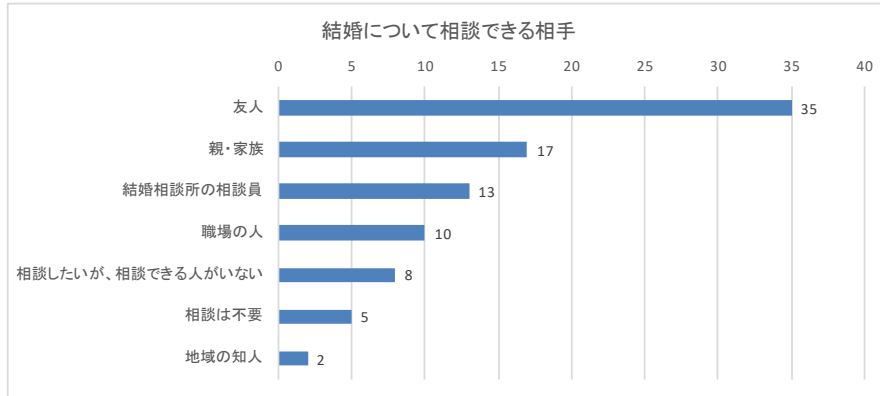
自然豊か

地域の交流

新しく出来た所のお店に通ってるため

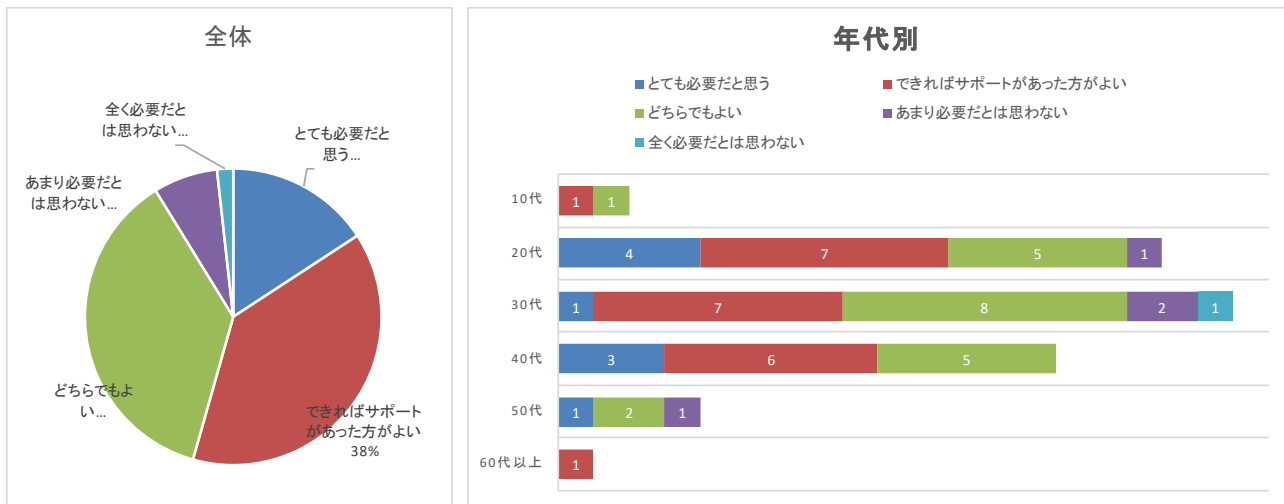
(参考) Q4で「どちらかというとしたくない」「全くしたくない」と答えた人(結婚意識の低い層)は、山口市外に住みたいと思う傾向があった。

Q12. 結婚全般について、相談できる相手はいますか？



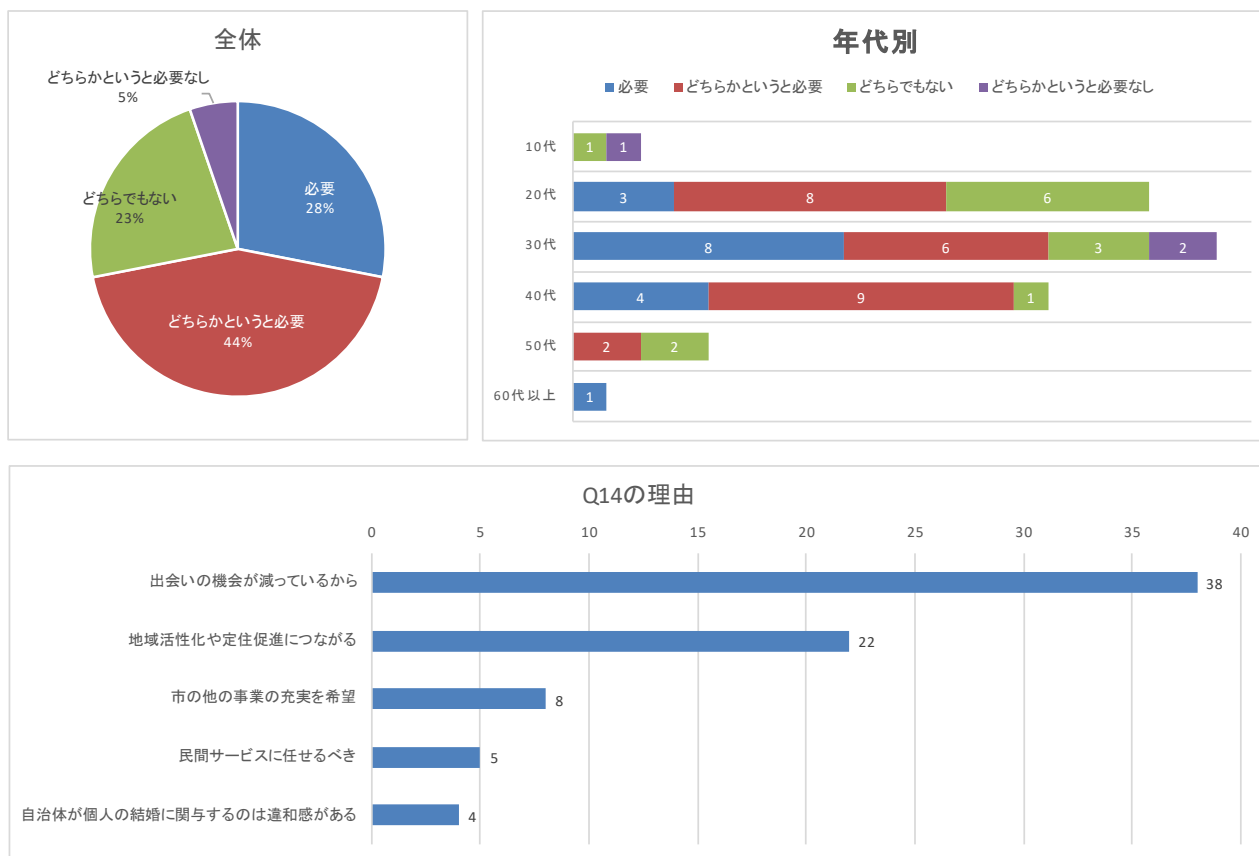
- ◆ 友人や身内に結婚を相談している人が多い
- ◆ 親御さんに向けたサポートや相談窓口なども、引き続き有用
- ◆ 友人・家族経由で、婚活支援をPRできる流れがあると良い。
- ◆ 一定数、誰にも相談できず孤立している層がいるため、オンラインによる相談窓口も有用な可能性がある。

Q13. 結婚全般について、第三者のサポートは必要だと思いますか？



- ◆ 全世代を通して、半数程度の方が「とても必要」「できればあった方がよい」と回答
- ◆ Q7でも、「友人・知人の紹介」「相談所の利用」を有効を考えている人が多く、自然な方法ではなかなか出会いが難しいと感じている層が第三者のサポートを必要していることがうかがえる。

Q14. 結婚支援を、市が行うことについて、どう思いますか？



◆ 7割以上の人が「必要」「どちらかという必要」と感じており、特に30代で必要とされている。

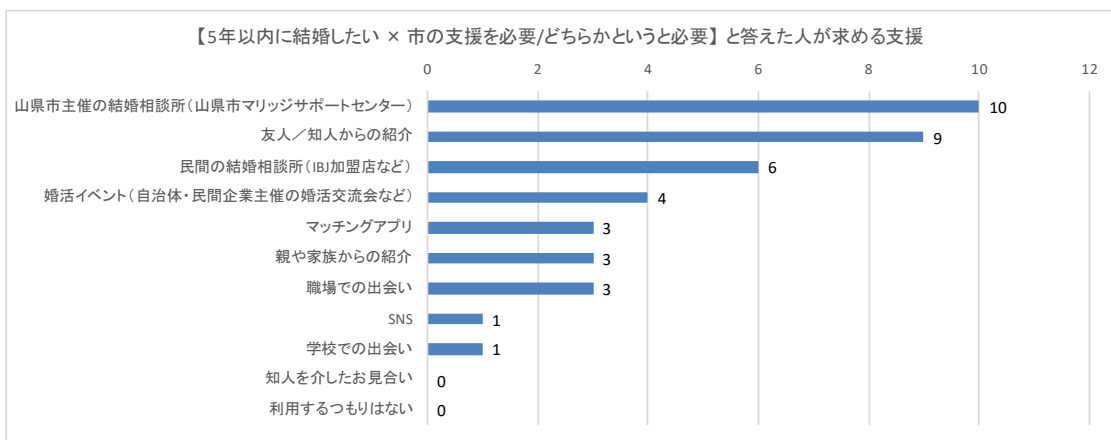
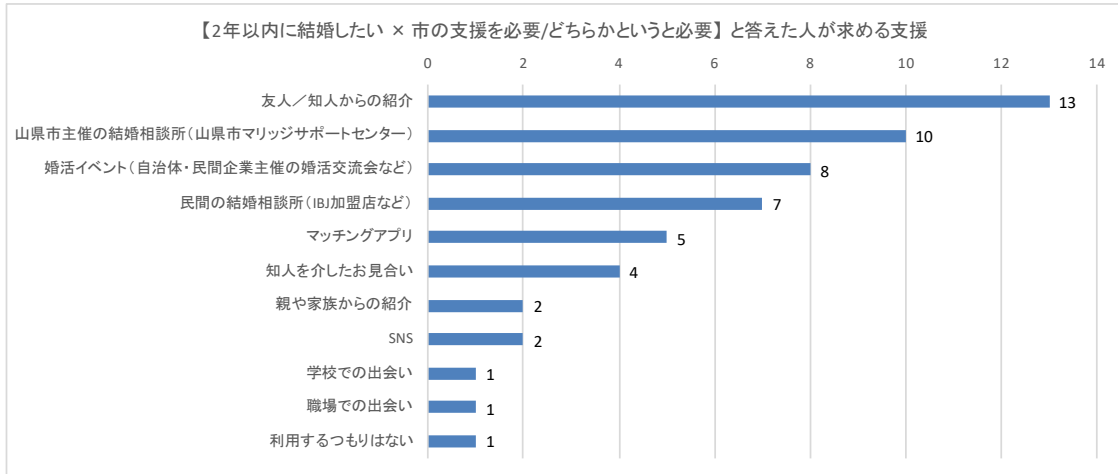
◆ 「出会いの機会が減っているから」という理由で、市の支援を必要だと感じている人が多数。

◆ 山県市活性化のために、市の支援が必要だと感じている人も多く見られた

◆ 「民間に任せるべき」「自治体の関与は不要」といった否定的な意見は少数派であり、

独身者は市の結婚支援を前向きに考えている人が多い印象である

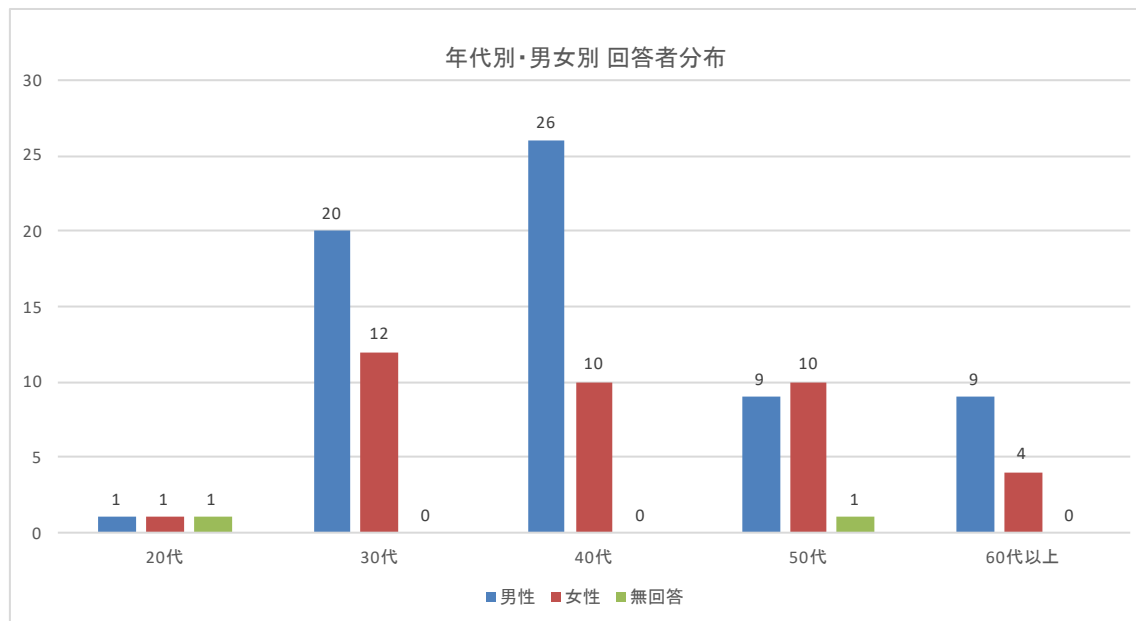
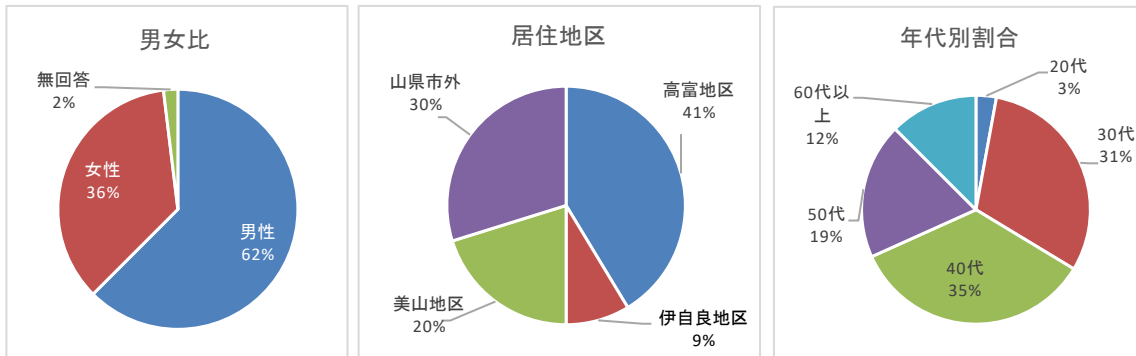
(参考)



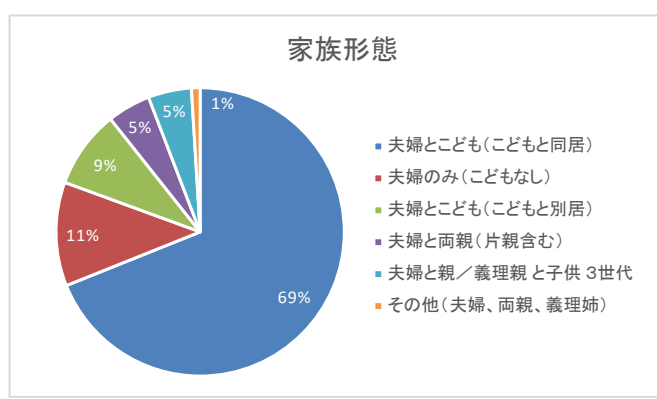
- ◆ 5年スパンで結婚を考えている人は、山口市の結婚相談所を望んでいる人が多い
- ◆ 2年以内の結婚を希望する人（結婚の意欲が強い人）は、「友人からの紹介」や、成婚までが早い「民間の結婚相談所」を利用する傾向にある
- ◆ 2年以内の結婚を望んでいるにも関わらず、「マッチングアプリ」「イベント」活用品も一定数いる。
→ 2年以内層にこそ、結婚相談所を案内できる機会があると良い

回答者について【既婚者】

年代	男性	女性	無回答	合計
20代	1	1	1	3
30代	20	12	0	32
40代	26	10	0	36
50代	9	10	1	20
60代以上	9	4	0	13
合計	65	37	2	104

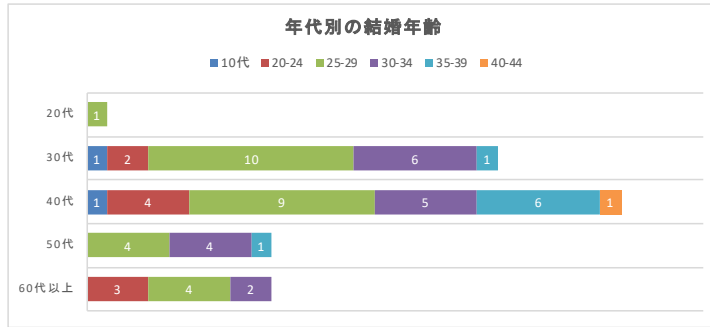
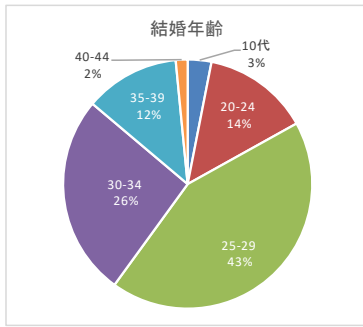


回答項目	件数
夫婦と子ども (子どもと同居)	71
夫婦のみ (子どもなし)	12
夫婦と子ども (子どもと別居)	9
夫婦と両親 (片親含む)	6
夫婦と親/義理親 と子供 3世代	5
その他 (夫婦、両親、義理姉)	1

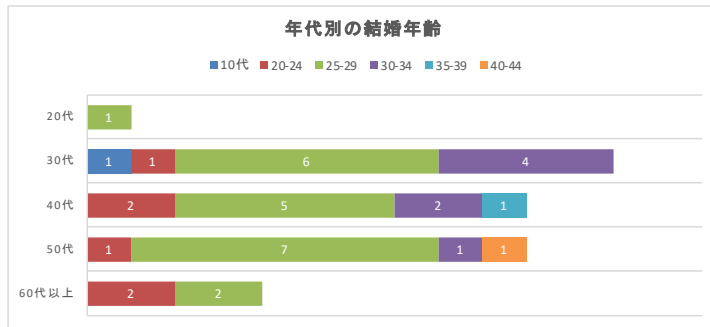
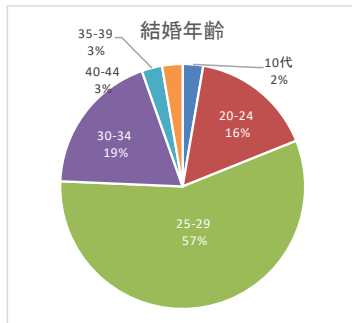


Q4、何歳で結婚をされましたか？

男性



女性



◆ 男性・女性とも、20代までに結婚している人が半数以上。

◆ 女性は、年代が下がるにつれて結婚年齢が上がっており、晩婚化の傾向も読み取れる。

※アンケート結果の結婚平均年齢

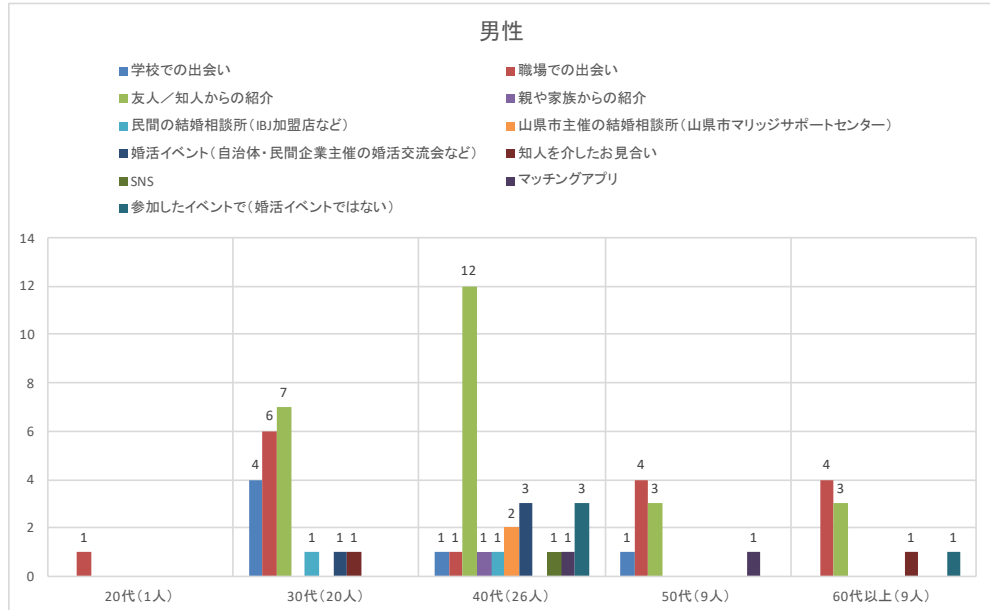
男性	28.7歳
女性	27.3歳

Q5、現在の結婚相手と出会った手段は何ですか？

男性

男性の全体回答者数

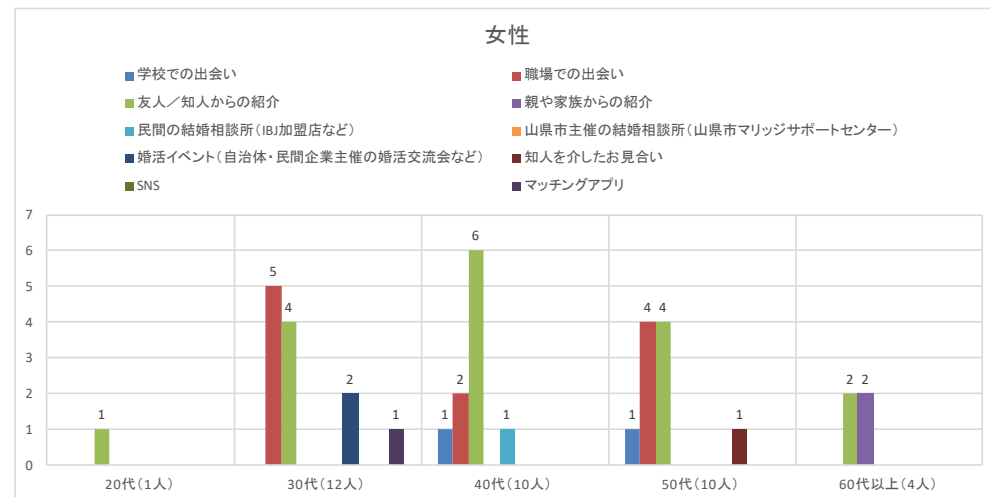
年代	男性
20代	1
30代	20
40代	26
50代	9
60代以上	9
合計	65



女性

女性の全体回答者数

年代	女性
20代	1
30代	12
40代	10
50代	10
60代以上	4
合計	37



◆ 全体を通して、オンラインではなくリアルな出会いで結婚された方が多数。

特に、「友人/知人からの紹介」で結婚に至ったケースが多い。

◆ サービスを利用した出会いでは、40代男性と30代女性で「婚活イベント」での出会いから結婚している人が一定数いた。

◆ 良く知った仲間同士や、安心できる空間での出会いが多い。

このことから、産業の流動化（企業誘致）や、関係人口・移住者の増加が結婚を活性化させると考えられる。

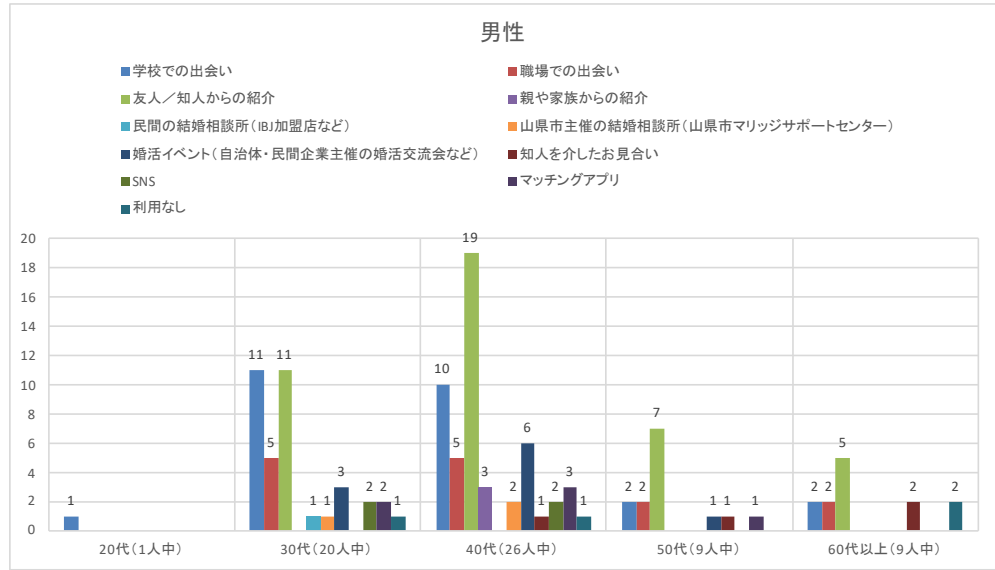
現実的に難しい場合は、既存の会社同士の交流も効果的といえる。

Q6、結婚相手と出会う前に利用したことがある出会いのきっかけは？【複数回答】

男性

男性の全体回答者数

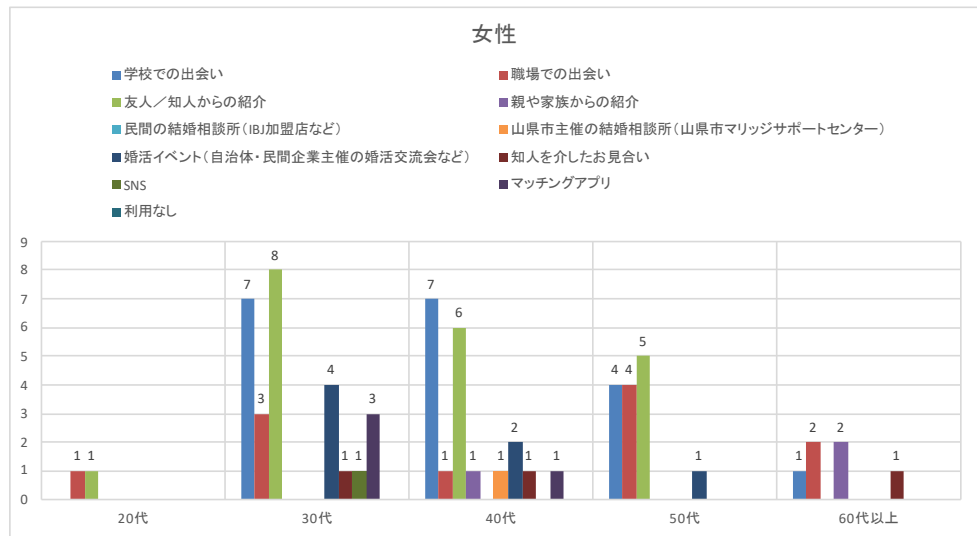
年代	男性
20代	1
30代	20
40代	26
50代	9
60代以上	9
合計	65



女性

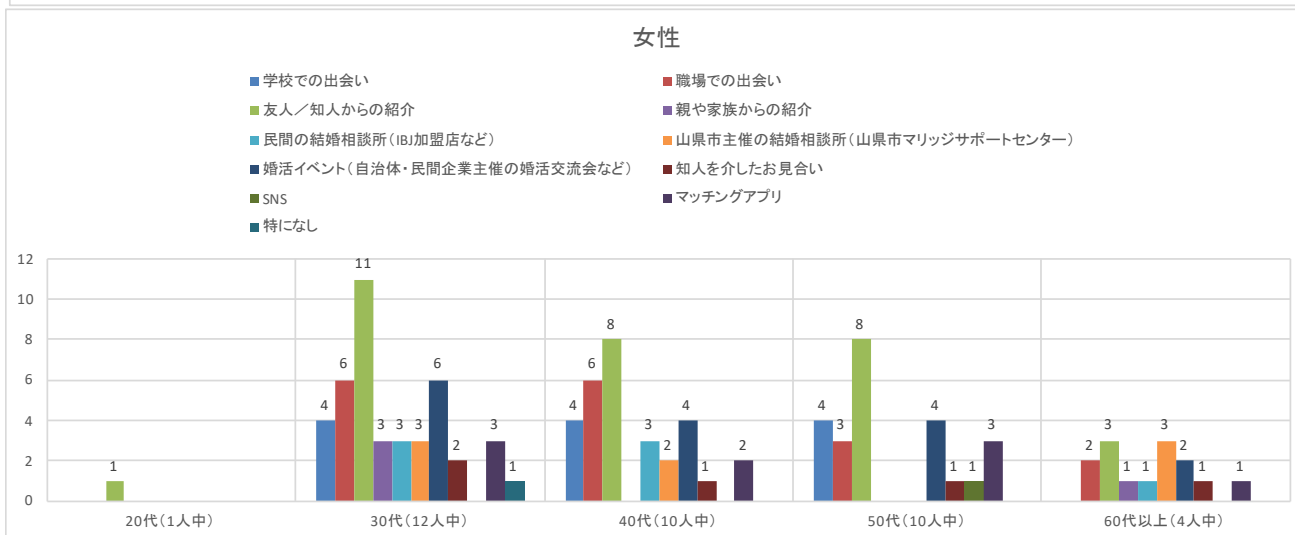
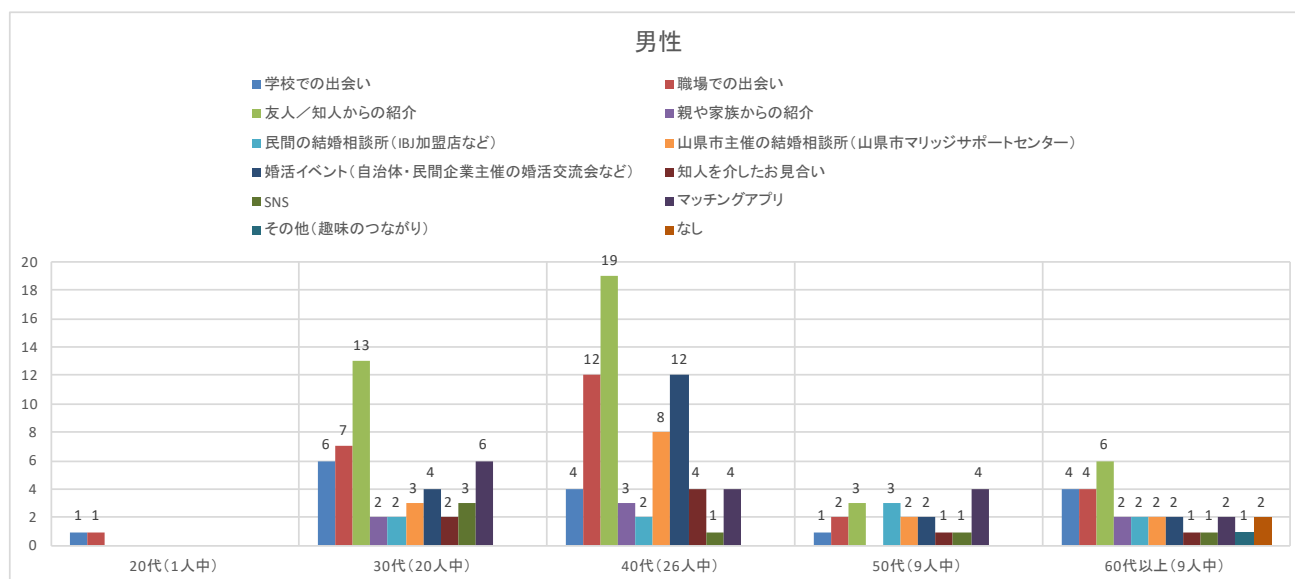
女性の全体回答者数

年代	女性
20代	1
30代	12
40代	10
50代	10
60代以上	4
合計	37



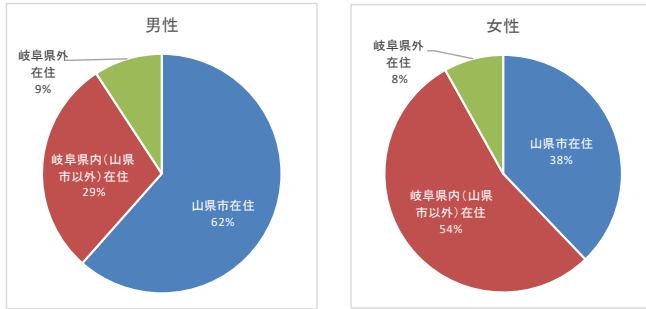
- ◆ 男性・女性とも、「友人／知人からの紹介による出会い」が多い。自然な出会いでは「学校での出会い」が多い。
- ◆ 30代・40代は、男女とも「婚活イベント」を活用している人が多い。Q5でも成婚者が出ているため、出会いの場の提供として有効である。
- ◆ 回答者の山梨市マリッジサポートセンターは、4名が利用し、2名が成婚している。（同一人物かは不明）
- ◆ 民間の結婚相談所の利用率は低かった。
- ◆ マッチングアプリの利用も一定数あり、少数ではあるが結婚にも結びついていた。

Q7. 結婚を考えている友人へおすすめできるきっかけ・手段を教えてください（複数回答）



- ◆ 全世代を通して、「友人・知人の紹介」をおすすめしている方が多い。
Q5・Q6にて、自身が出会ってきた経験とも一致している。
- ◆ 次いで、「婚活イベント」「山梨市マリッジサポートセンター」のすすめが多い結果であった。
- ◆ Q4～Q7の全体を通して、友人・知人からの紹介が多いため、性別問わず、仲間を増やす交流の機会を設けることも効果的と考えられる。
(例) 婚活イベントではなく、登山会や、みとか様でのスイーツ体験など、趣味に特化した市民交流イベント

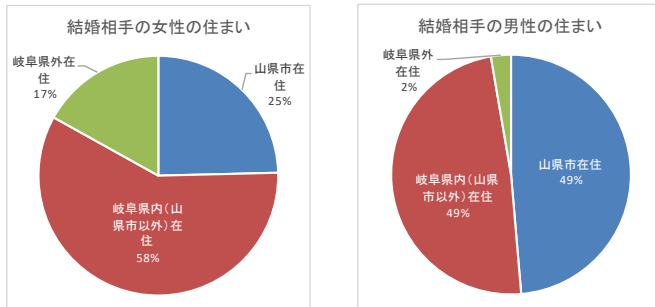
Q9. 結婚前、山県市にお住まいでしたか？



◆結婚前から山県市に定住している人は、男性で約6割、女性で4割程度。

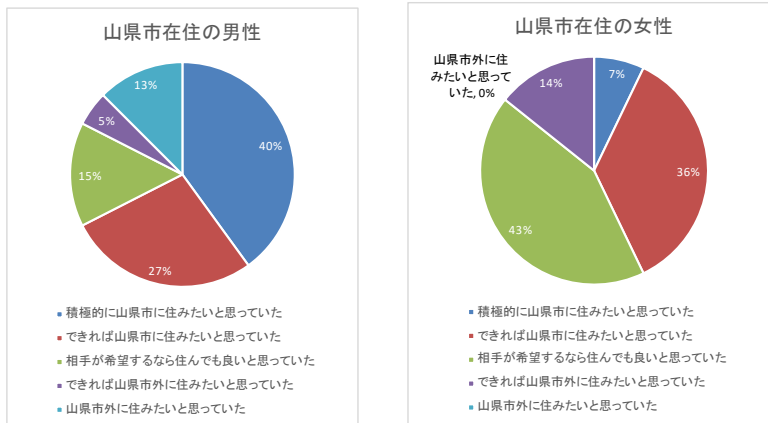
◆男女問わず、県外からも10%程度の転入があるため、結婚・子育ての支援を手厚くすることで、山県市での定住増につながる可能性がある。

Q10. 結婚相手の方は、どちらにお住まいでしたか？



Q11. (山県市在住者) 結婚する前、「結婚後は山県市に住みたい」と思っていましたか？

※対象：山県市在住の方のみ



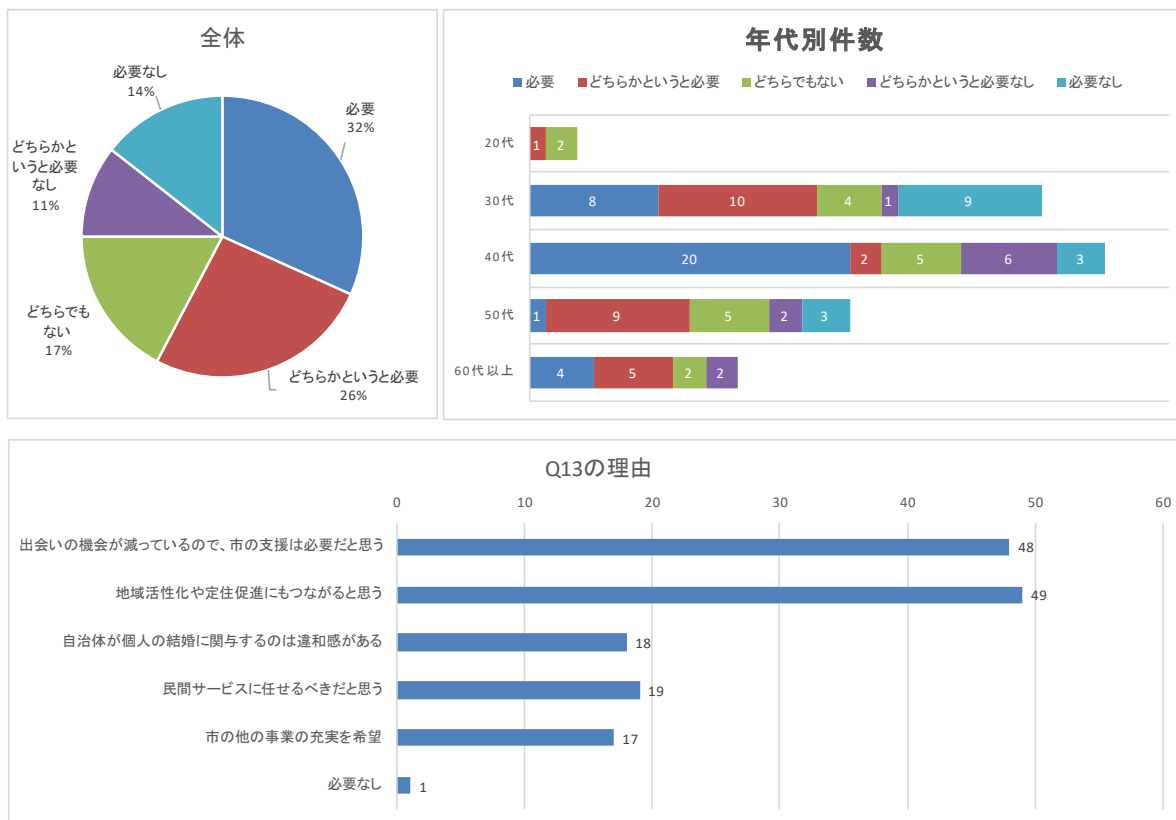
◆男性は地元志向の強い人が、山県市で結婚している傾向。女性は男性より地元志向は弱い。

◆市外の女性が山県市の男性との結婚をしやすくなる、もしくは地元女性が山県市に残ってくれるようなサポート・仕組みがあると良い。

(参考) 結婚後、山県市→山県市外に住んだ理由

利便性が良いため	住環境がよかった
お互いの実家の中間地点だったから	結婚相手が市外在住だったため
夫の仕事の都合	職場が近い
実家に居住する為	通勤が便利だから

Q13. 結婚支援を、市が行うことについて、どう思いますか？



◆その他

(肯定派)

民間サービスは高額なので、ニーズがあるのであれば、やってあげればよい。
 民間より安心感があるから、いいと思います。
 山県市の支援情報等を理解してもらうことができる。
 公共団体による実施は、不信感が少なく良い

(否定派)

市税を投入してまで効果が薄い気がするため。
 市の事業としては時間・業務・お金等を考えても、必要ないと思う
 以前もやっていたが効果なし
 山県市は消滅が避けられないので出産育児の財政支援は不可欠。しかし公金を結婚支援に投入することはコスト面で反対。

(その他)

自身の考えが重要
 サービスを利用したことがなく、判断できない

◆ 半数以上の方が、「必要」「どちらかという必要」と回答。

特に40代で「必要」と感じている人が多い。

◆ 独身者回答に比べると、「支援に違和感がある」「民間に任せるべき」などの意見が見られた。

※ 全設問を通して、大きな地域差は確認できなかった